

基本目標 5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

【基本施策】①地域福祉の充実

②健康づくり・生きがいの推進

③共生協働・コミュニティ活動の推進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	● 期待したい。お祭りを開催することで人もたくさん集まるのでいいと思う。 ● 高齢者が多いので、福祉の充実や健康寿命を延ばすことにつながる取組は大切だと思うから。 ● 福祉が充実していれば安心して暮らせる人は多いと思う。 ● 知らなかったけど良いなと思った。 ● いいと思う。
20 歳代	意見なし
30 歳代	● 地方福祉は、先日不正請求などあったので、他にもありそう。 ● 鹿屋が残さないといけない文化は大切だと思う。 ● 体力作りをする上で鹿屋市街地だけでなく他の街にもジムを作るべき。会社帰りに気軽に立ち寄りたい。 ● お祭りは人を呼ぶから沢山して欲しい。「〇〇フェス」とか知らない人が多い。市の広報（NPO 法人などのものも）に載せてほしい。 ● 地域によって近隣住民とどれだけ交流があるか異なると思うが、実際災害等が起きた時に、お互い助け合えるような関係性は作っておく必要があると思う。 ● 広報かのやに様々な情報が載っているので、分かりやすいし楽しい。ともに支えあえるように考えていかないといけないなと思った。 ● 高齢者と子供の繋がりが一切ない。 ● 公民館等を利用した習い事を増やしてほしい。 ● 鹿屋市の習い事を一覧できるようにまとめてほしい。 ● サポートは充実しているが人員不足で利用しづらそう。 ● 文化活動も盛んなので発展に期待したい。 ● これに関してはよく分からないが、もう少し市民同士がふれあう機会が増えてもいいと思う。
40 歳代	● 定年退職後に活躍できる場所がある事と、そこが参加しやすい場所であること。 ● 子供たちと高齢者が触れ合う場所(こども食堂の増設など)や環境がもっとあると良い。 ● 良い文化は残しつつ、鹿屋を基盤にした音楽フェスなど出来れば良いと思う。 ● 私が住んでいる地域は特に町内会の行事が盛んなので、周りにどのような方が住んでいるのか皆様の人となりがわかり凄く良い。 ● 在宅福祉アドバイザーは誰なのかわからない。どんな活動をしているのか周りの人で知っている人がほとんどいない。 ● 知らないことが多かった。情報に目を向けたいと思う。 ● 活動内容？等に知っていることも多いので、そのままでもよいか、セミナー等も

年 代	自 由 意 見
40 歳代	っと開催してもよいかと思う。 ● 鹿屋は税金が高いので高齢者も生活は苦しいと思う。 ● 地域福祉は高齢者、障がい者のいる家庭はもっと周知させたほうが良いと思う。元気な高齢者は案外こういうこと知らなかったりするものである。もっとハードルを下げたほうが電話しやすいと思う。 ● 健康づくりは良いと思う。 ● 人権教育は学校でもあると思うが、市報にも月のコラムなどで周知させたほうが良いと思う。高齢者などよくわかってない方もいるので。 ● 学校の先生方の仕事の負担が大きく、また数も足りていないと聞く。交代要員など人員の確保ができないため、子どもに害があると分かっている問題のある教師を処分できないというのは変えていかないといけない。問題があっても隠したり庇ったりして、自浄能力が教育現場にないと感じる。人権教育の前にまずは教育関係者が我が身を正して欲しい。 ● 福祉の充実を目指すなら、働いてくれる現場の方にもっと充実した賃金や職場環境を整えて働きたくなる場所にしてほしい。 ● 宣伝等が欠けていると思う。 ● 平和・生き方の価値観はそれぞれ違うし、啓発活動だけでは難しいのでは？実際に魅力を感じない。
50 歳代	● ご近所さんと積極的に話をしようと思う。 ● 昔のような近所との付き合いも少なくなったと思う。 ● よそ者には関係ない話である。ここで生まれ育った仲間内でどうぞ仲良くやって支えあっていきいきと暮らして下さい。 ● 推進はしていても情報は行き届いていないし、情報を知っていても、自分で参加できない方々へ対応がされておらず参加を諦めている人は多いと感じる。 ● 高齢者が働ける環境を作るべき。 ● 若者が集まるイベントをするべき（コスプレイベントやコミケ・B 級グルメなど）。 ● 現在色々やってくださっているようだけど、活動をみていうわべだけという感じがする。地域の世話係が住民と協力してやる事、そこに押し付けが無いようにすることが望みである。 ● 教育にも浸透させてほしい。 ● アドバイザーは知らない人が多いと思うので、アピールした方がよいのではないかな。 ● 各世代が、楽しめるイベントにて、交流する機会。
60 歳代	● 期待したいとしか言えない。市長さん、市議さんたちが自ら行動して示してほしい。 ● 地域福祉の充実は独居老人等には必要と思われる。 ● 生きがいづくりは一般の人には敷居が高く、もっと下の校区や町内会単位で実施できないか。

年 代	自 由 意 見
60 歳代	● コミュニティ活動の推進については今後の活動を注視したい。 ● 曾於市に比べると昭和時代のタレントが多く、もっと若くして活力のある方を呼んでほしい。アンミカさんなど話題のある人。 ● 各地区での発表会があるので文化祭はなくていいと思う。 ● 文化会館に駐車場が少ない。会場終わりに車が出るとき、混み合う。 ● 隣の家が高齢者でゴミ屋敷、猫の放し飼い。毎日がストレスである。臭くて窓を開けられない。猫の糞尿やほかの野良猫と暴れていたたり、網戸も破れたりしている。高齢者は何でも許されるのか？ ● 高齢者の婚活パーティ等を実施してほしい。スマホ等でのマッチングアプリは少し怖い気もするし、コロナも少し落ち着いてきているのでどんどん実施してほしい。 ● 近所の人が見守ることが大切である。 ● 住民参加で地域対抗のイベント等を開催してほしい。 ● 昨年末Uターンしたばかりで、基本施策についてはほとんど知らない。 ● 今まで仕事中心でしたが、今後は回りと交流するなど、イキイキと生活していきたい。 ● 地域福祉の充実は施設拡充にするべき。 ● あまり詳しくないのでこのままで。 ● 福祉関係の手続きの複雑さや関わり合う機関の多さに戸惑うこともあった。単純化して利用しやすい方へ変革はできないのでしょうか。
70 歳代	● 学習センター等での文化事業の支援は素晴らしいと思うが、単位高齢者クラブ(老人会)での高齢者向けの文化活動も、支援していただきたい。 ● 市内も高齢化が進み、認知症対策に向けて健康づくり・生きがいづくり・市民参加型コミュニティが必須である。 ● 学習センター活動など色々あり良いと思う。予算不足でサービスの低下がない事を願いたい。 ● 過疎地域への充実性が見えない。 ● 過疎化等で限界集落等見守りが必要なところが多いと感じる。 ● 時代の流れか物事の意識格差あり。 ● 最近の民生委員はどのような様子なのでしょう。以前は老人(何歳以上だったかはわかりませんが)宅へ声かけをしていたみたいだが、集落に一人ずつでもいると何かと安心だと思う。 ● 最も力を注ぎたい人を引き出す工夫がないのだろうかと思う。 ● 夜間の飛行機の練習は中止してほしい。 ● 農業を一人でやっていると少し不安なところがある。山から綺麗な湧水が沢山湧くので、おいしいキュウリや甘藷が作れる。とてもシャキシャキしておいしいキュウリだと皆さんに言われる。 ● 市長・議員をはじめ、鹿屋市のオピニオン・リーダーの方々は、人は共同・共生しなければ、究極的には生きていけないことを、市民に分からせる努力が足りな

年 代	自 由 意 見
70 歳代	いような気がする。 ● 民生委員の声掛けが少し足りない気がする。 ● 高齢で一人になると見守りを必要とする。また、文化祭等を増やしてほしい。 ● 本年度から３年間で後期高齢者が 800 万人増えることから、地域福祉の充実は今まで以上に不安である。福祉に従事する職員の充実・余暇活動を予防と一緒に取り組む。 ● 町内会に責任を持たせる施策を基本とすれば、コミ協は不要である。他県に見習うべき事例が多い。
80 歳以上	● 高齢者対策に力を入れてほしい。 ● 運転免許の返納等で、高齢者が参加する機会が減る一方である。参加意欲が高まる交通手段の一考を。 ● 在宅福祉を利用している。 ● 文化祭など参加者だけ、頑張って応援支援が少なくてさみしい。 ● 文化的な行事が多い。